

(報道発表資料)



令和6年10月31日  
京都市都市計画局  
建築指導部建築審査課  
バリアフリー推進担当  
電話：075-222-3616

## 宿泊施設のバリアフリー情報発信サイト 「人にやさしいお宿情報」と「IKKEL (イッケル)」の公民連携の開始について

京都市では、「京都市建築物等のバリアフリーの促進に関する条例」に基づき、高齢者や障害者をはじめ、誰もが安心して宿泊施設を利用できるよう、「人にやさしいお宿情報」として、宿泊施設のバリアフリーに関する情報を発信しています。

この度、本市の福祉のまちづくりに取り組む一般社団法人京都府建築士会・ハート&ハード研究会の協力を得て、一般社団法人バリアフリー総合研究所 UD ラボ東海と連携し、宿泊施設のバリアフリー対応の現状を写真や3D映像を用いて詳細に発信する民間ポータルサイト「IKKEL (イッケル)」(10月31日開設)を活用することで、本市の「人にやさしいお宿情報」について、より便利で利用しやすいものに充実する取組を開始します。

なお、本取組は行政と民間事業者が互いのリソースを持ち寄り、様々な課題の解決や新たなサービスを創出する「KYOTO CITY OPEN LABO」の制度を活用しています。

### 1 「IKKEL (イッケル)」とは

「IKKEL」は、障害のある方や高齢者の方が安心して旅行を楽しめるよう、バリアフリー対応の宿泊施設情報を提供するポータルサイトです。

各宿泊施設のバリアフリー情報は、文字情報だけでなく、施設や客室の詳細な写真や3D映像も掲載しています。段差や通路の幅、トイレや浴室のサイズを確認したり、施設が提供する補助器具やサービスをチェックしたりすることで、「自分や家族が快適に宿泊できるか」を利用者自身が判断できます。

【運営】一般社団法人バリアフリー総合研究所 UD ラボ東海 (本社：愛知県名古屋市)

【IKKEL ポータルサイト】<https://ikkel.or.jp/>

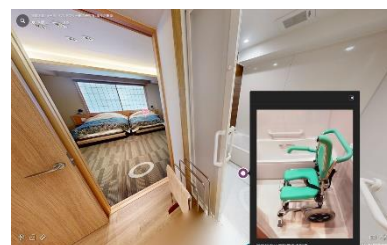
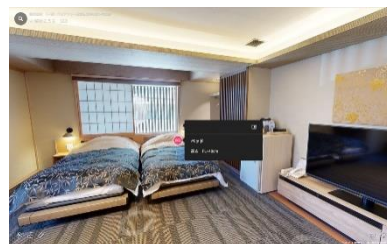
【主な機能】3Dウォークスルー

- ・360度3DVR撮影によるMatterport (マターポート) を活用
- ・スマホ、PC、タブレットなど多彩なデバイスで3D空間を閲覧可
- ・測定モードで知りたい箇所の寸法を自分で計測可



二次元コード

### <客室の3D映像のイメージ>



## 2 今後の展開

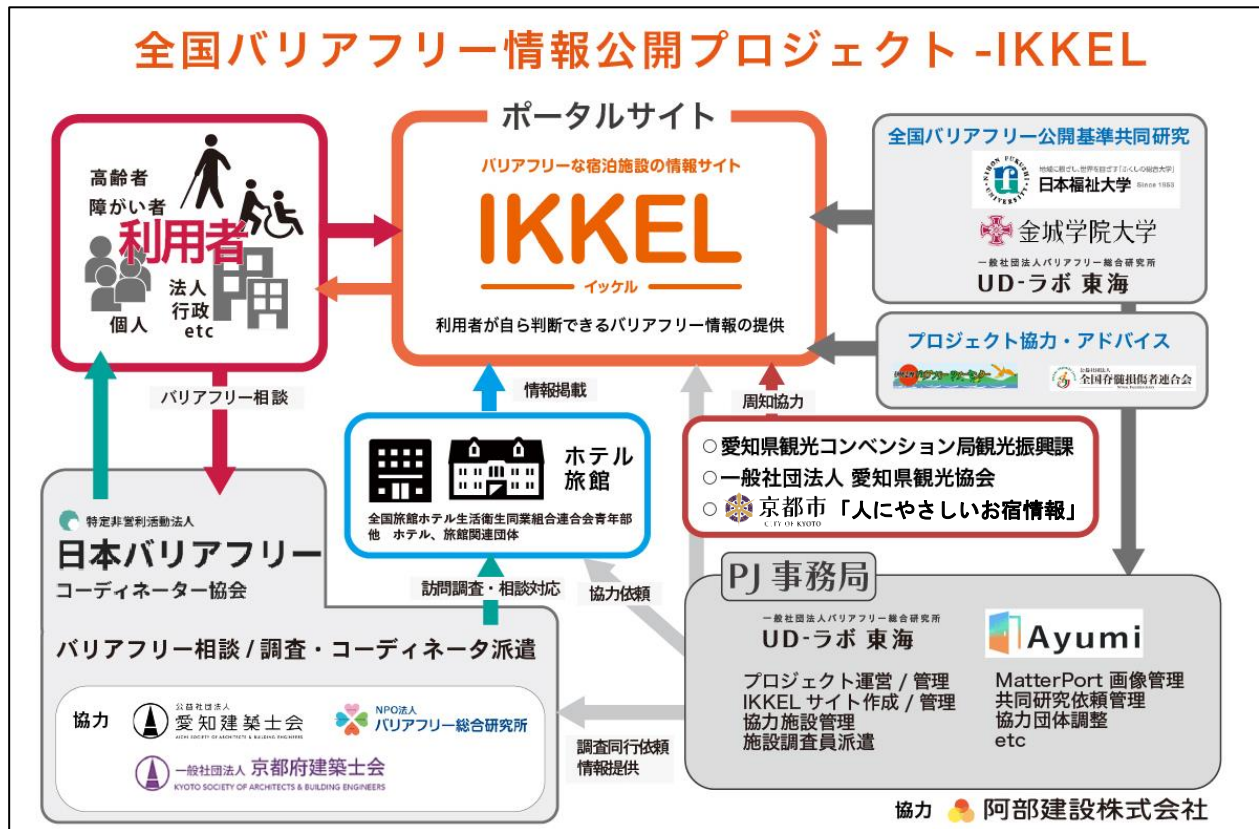
今回、100件を超える本市の「人にやさしいお宿情報」公表施設のうち1件を、初めて「IKKEL」に掲載します。

今後、「IKKEL」に掲載される京都市内の宿泊施設の情報を、「人にやさしいお宿情報」にも掲載（相互リンク）し、より充実したバリアフリー情報の発信を行います。

また、更なる宿泊施設のバリアフリー情報の見える化に向けて、「IKKEL」への掲載を希望される宿泊施設を広く募集します。

## 3 連携体制

宿泊施設のバリアフリー対応の現状を「IKKEL」に掲載するに当たり、建築士等の調査員が施設を訪問し、バリアフリーに関する施設機能を詳しく調査します。



一般社団法人バリアフリー総合研究所 UD ラボ東海 作成

## 4 お問合せ先

- (1) 京都市における建築物等のバリアフリーの促進に関すること  
京都市都市計画局建築指導部建築審査課  
TEL：075-222-3616
- (2) 「IKKEL」に関すること  
一般社団法人バリアフリー総合研究所 UD ラボ東海  
全国バリアフリー情報公開プロジェクト IKKEL 運営事務局  
TEL：052-911-6333 Mail：contact@ud-lab-tokai.jp

### ※ 「人にやさしいお宿情報」（宿泊施設のバリアフリーに関する情報）とは

高齢者や障害者をはじめとする誰もが自分のニーズに応じた宿泊施設を選択することができる環境を整えるため、ソフト面の取組を含めたバリアフリーに関する情報を発信しています。

【HP】<https://www.city.kyoto.lg.jp/tokei/page/0000293150.html>

### ※ 一般社団法人バリアフリー総合研究所 UD ラボ東海とは

建築士や医療専門家など、各分野のスペシャリストをネットワーク化し、バリアフリー建築や介護に関する相談から調査、図面作成、施工までワンストップで対応するなど、ユニバーサルデザインの実現に取り組む組織です。

【HP】<https://ud-lab-tokai.jp/index.html>

※ 「KYOTO CITY OPEN LABO」(公民連携プラットフォーム)とは

京都市が抱える様々な行政課題その他の課題に対し、民間企業等から課題の解決に資する技術やノウハウ、アイデアなどを募集したうえで、京都市と民間企業等と一緒に実証実験や具体的実践等により課題解決に取り組む仕組みです。

【HP】<https://open-labo.city.kyoto.lg.jp/>